

■入園無料 ■駐車場・トイレあり

■開園時間

午前10時～午後4時

■休園日

毎週火曜日（祝日と重なった場合は翌日）

年末年始（12月28日～1月4日）

■交通

鉄道で・・・

◎ JR山陽本線「有年駅」から北西へ徒歩20分

JR山陽本線「有年駅」から北西へ自転車で6分

自動車で・・・

◎ 山陽自動車道「龍野西I.C.」から国道2号を西へ11km

国道2号交差点「有年原」から国道373号を北へ1km

◎ 山陽自動車道「備前I.C.」から国道2号を東へ16km

国道2号交差点「有年原」から国道373号を北へ1km

※本パンフレットの英文は、赤穂市国際交流協会（A I F A）の
通訳観光ガイド研究会によるご協力をいただきました。

記念スタンプ

■問い合わせ

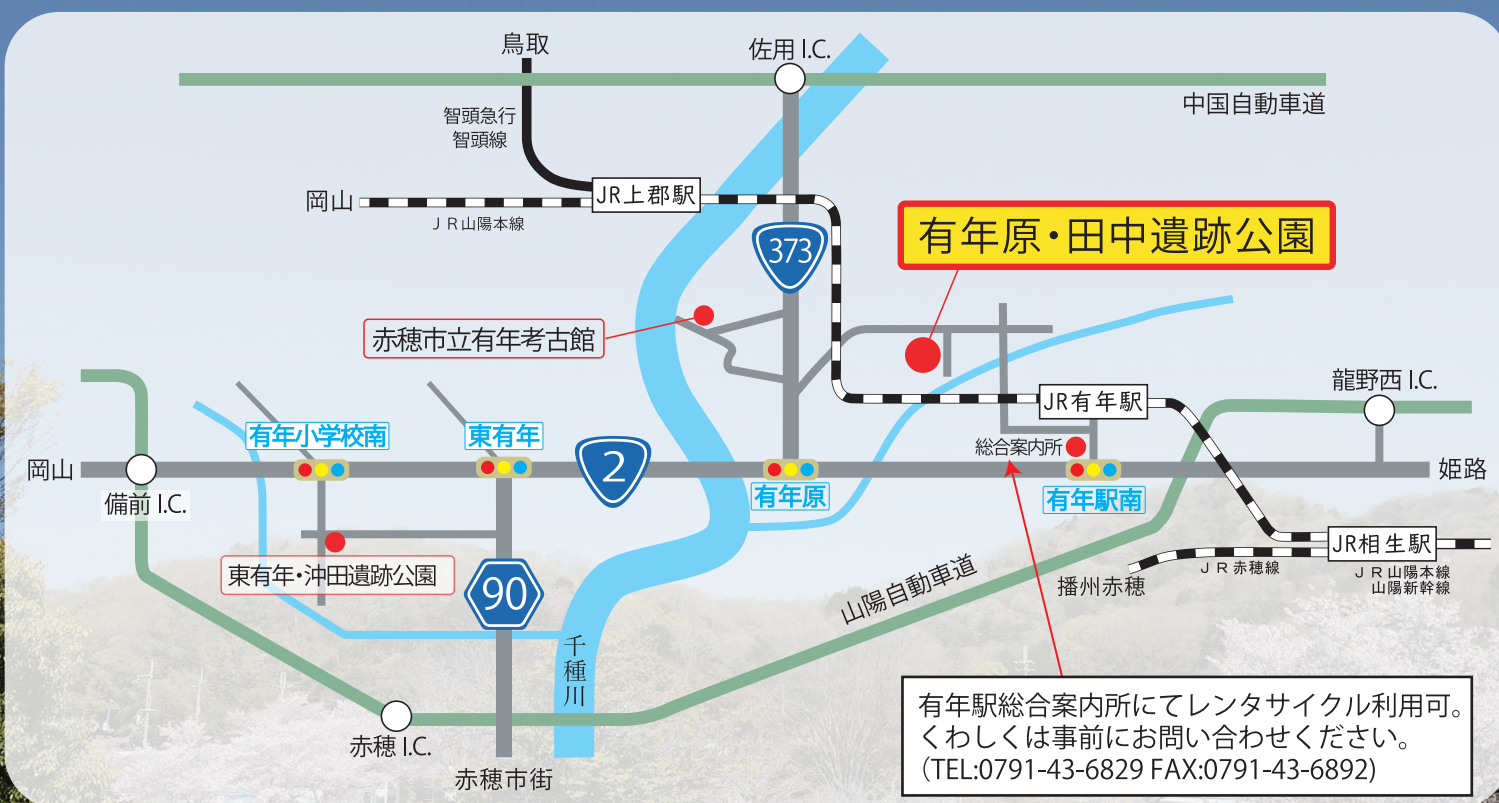
赤穂市教育委員会事務局 文化財課 文化財係

〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地

TEL：0791-43-6962 FAX：0791-43-6895

有年原・田中遺跡公園

〒678-1182 兵庫県赤穂市有年原1090番地



お 願 い
みんなの公園です。大切に利用ください。
迷惑になるような利用は禁止いたします。
ごみはお持ち帰りください。
園内は、禁煙・火気厳禁です。

兵庫県指定史跡

有年原・田中遺跡公園

Unehara-Tanaka Historical park

兵庫県赤穂市教育委員会

有年原・田中遺跡って、何が「すごい」の？

What is so special about the Unehara-Tanaka Burial Mounds ?

有年原・田中遺跡では、弥生時代後期（約1,900年前）の大きな墓が2基、発見されました。このうち1号墳丘墓（直径約19m）には、「突出部」と「陸橋部」（右図）がありました。

古墳時代に巨大な権力が生まれたことを示す前方後円墳は、弥生時代の墳丘墓の「突出部」が発達した形であることから、有年原・田中遺跡でみつかった墳丘墓は前方後円墳の祖形の1つであると考えられています。

また周溝からは、墳丘墓に貼り付けられていた石材とともに、多くの文様で飾られた壺と器台が出土しています。これらの土器はそれまで墓の「マツリ」で用いられていたものとは大きく異なっており、最終的には埴輪の原型となる土器「特殊器台」の祖形になるものと考えられています。

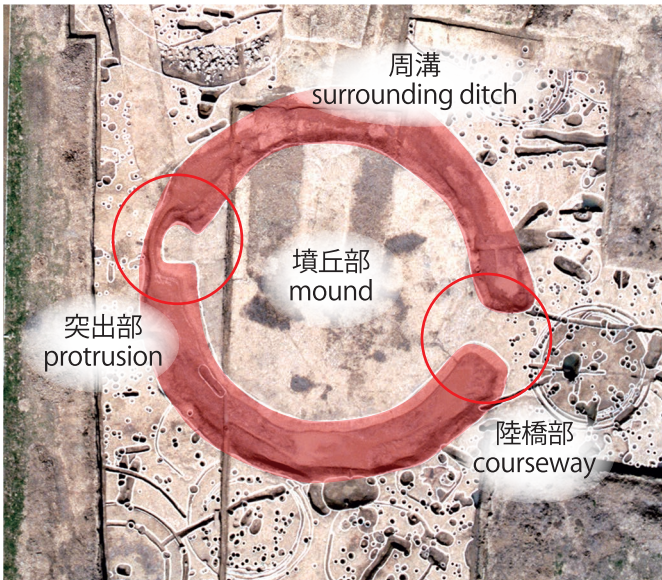
このように、有年原・田中墳丘墓群は、墓の形と「マツリ」の方法に古墳時代の前方後円墳と共通する点が多く、その起源を明らかにする遺跡の1つとして、全国的に有名です。その価値はきわめて高く、兵庫県指定文化財（史跡）となっています。



1号墓の突出部
Protrusion of the burial mound 1



墳丘墓から出土した土器（壺と器台・高坏）
Excavated pottery from the burial mounds



有年原・田中 1号墳丘墓
Unehara-Tanaka burial mound 1

The remains of two tombs have been discovered in this site Unehara- Tanaka, dating back to the late Yayoi Period (about 1,900 years ago). Burial mound 1 features a protrusion and a courseway(refer to the figure above).
The area around the protrusion was used for ceremonies. This, and the sophisticated keyhole design of the tomb, illustrate the emergence of wealthy and powerful classes during these times. This site marks the first use of the tomb design which became standard throughout following periods.
Intricately decorated vessels and vessel stands have also been uncovered in the surrounding ditch. These kinds of ceremonial vessels are different from previous ones, and are believed to be an early instance , itself a forebear of Haniwa. These urns were used to hold offerings to the different spirits of nature.
The Unehara-Tanaka burial mounds are famous around the country as first representatives of the architectural and ceremonial styles that are also seen in other ancient areas such as Nara later, and their value has been recognised through designation as a Hyogo Prefectural Cultural Asset.



有年原・田中遺跡の発掘調査のようす
Excavation of Unehara-Tanaka burial mounds

有年原・田中遺跡を散策してみよう！

Let's go walking in Unehara-Tanaka historical park!

有年原・田中遺跡公園には、発掘調査で見つかった遺構が復元されています。すでに説明した1号墳丘墓や2号墳丘墓のほか、一般の人々を葬ったと考えられる木棺墓群、そして木棺墓群と墳丘墓との間を分ける溝があります。この溝は長さ20m・幅3m・深さ1mで、中からは100個をこえる完全な形の土器が出土していることから、墓への「マツリ」が行われたと考えられ、「祭祀土坑」と呼んでいます。なお、墳丘墓では棺は見つかっておらず、すでに破壊されていたようです。

有年原・田中遺跡では、権力者の墓と考えられる墳丘墓と一般の人々が葬られた木棺墓群を区画する溝があることから、古墳時代につながる身分差や権力が生み出されつつあったことがわかります。



発掘された「祭祀土坑」
Excavations of the ceremonial ditch



発掘された弥生時代の木棺墓群
Excavations of the cemetery of the late Yayoi Period

